

2021年度の目標（ゴール）

- 幕張新都心における自動運転車の社会実装に向けた課題の洗い出し（インフラ・技術・サービス）

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

（第1回WG）4月13日（火）

＜アジェンダ＞

- 事例紹介（国立大学法人 群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター）
（アイサンテクノロジー株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社ティアフォー）
- 自動運転車両走行環境調査について
- 今後の取組みについて

＜主な意見＞

- 2023年に予定しているJR京葉線の新駅開業を見据え、検討を進めていく。
- 今年度、幕張新都心における自動運転サービスの導入可能性を検討するため、実証実験を実施。
実証実験の実施に当たっては、市の支援予定。（補助金限度額 10,000千円、補助率 2／3）

これまでの取組み、成果、課題

(第2回WG) 5月21日 (金)

<アジェンダ>

- 自動運転実証実験イメージについて
- 自動運転車両走行環境適正調査について
- 意見交換

<主な意見>

- 都市部において、自動運転を実現するためには安全を担保することが重要となる。
- 自治体を中心にインフラ整備が実施されることを期待している。
- 事業継続のためには、採算面と政策面が重要で、幕張新都心の最適化を考えていく必要がある。
- 深夜夜間の自動運転バスサービスや、マリンスタジアムでの試合前後の渋滞を考慮した専用レーンによる自動運転サービスなどを期待している。
- 自動運転の採算性が不透明。社会実装に向けて、インフラ整備やビジネスモデルの構築が必要である。

自動運転WG(2021年度中間まとめ報告会)

これまでの取組み、成果、課題

(第3回WG) 9月 (書面開催)

<アジェンダ>

- 自動運転実証実験の公募のお知らせ
- 意見交換

<主な意見>

- 特段意見なし

これまでの取組み、成果、課題

【成果】

- 自動運転サービスの導入には、インフラ整備が必要不可欠であり、改めてその進捗を期待されていることを認識した。
- 幕張新都心での本格的な社会実装には、ハード面、ソフト面ともにまだ相当な時間を要するため、課題の洗い出しや実現可能なコース選定の検討を進める。
- 今年度の実証実験イメージを会員間で共有した。

【課題】

- 自動運転サービスにおける各事業者の役割が明確になっていない。
- 幕張新都心における導入コストとそれに見合う効果が定量的に検証できていない。

【今後の進め方】

- 自動運転サービスにおける役割を洗い出し、社会実装に向けたビジネスモデル構築を検討する。
- 引き続き、導入可能なルートを検討し、実証を通じて効果検証する。

2021年度の目標（ゴール）

- 幕張新都心におけるマイクロモビリティの2023年度時点でのあるべき姿の明確化と課題の抽出
- 2022年度の検討項目洗い出し/実証実験実施方針策定

これまでの取組み、成果、課題

【第1回WG】3月17日（水）

<アジェンダ>

- 参加団体様自己紹介
- これまでのマイクロモビリティの取組み
- 今後のWGの予定

<主な意見>

- 既存の公共交通機関と棲み分けを行いつつ、**各種移動サービスを1 I Dで利用可能にするなど、連携したサービスの提供を目指していきたい**
- 各社が保有するデータの共有にはセンシティブな部分もあるが、パーソナルモビリティや電動キックボードなど各実証実験で取得したデータを適宜共有しながら、利活用の方向性等を検討していきたい
- **地域の課題や移動ニーズなども吸い上げなら、地域に根差したサービスの提供を検討していきたい**

これまでの取り組み、成果、課題

【第2回WG】4月28日（水）

＜アジェンダ＞

- マイクロモビリティの取り組み/課題のご紹介(5 社様)
- 各社様の取り組みを踏まえたディスカッション

＜主な意見＞

- 地域住民がモビリティを利用する上で各アプリケーションが一つにまとまっているとよい
- 今後、市立病院が近隣に移転することも見据えて、小回りが利くモビリティを展開した方がよい
- 幕張新都心地区の拠点間は一定の距離があるため、高齢者の方も移動しやすいマイクロモビリティを展開していきたい

【第3回WG】5月20日（木）

＜アジェンダ＞

- 今後のWGの進め方
- PTリーダー選定
- 今後の予定

＜主な意見＞

- PT制にて進めていくことで合意

これまでの取組み、成果、課題

【第4回WG】10月5日（火）

<アジェンダ>

- PTからの取組み状況紹介
- 今後の取組みについてのディスカッション
- 中間まとめ報告案

<主な意見>

- 実証実験を通して**どのような行動変容があるのかなど**の結果については実験後に共有させてほしい
- 今後のサービスを検討するために、**幕張新都心を訪問した目的に応じてのレコメンドのサービス化を**検討した方がいい

これまでの取組み、成果、課題

【PTの実施状況】

サービス検討	第1回PT : 8月11日(水)、リモート開催 内容 : PT取組全般について意見討議、提案資料骨子作成 ～8月16日(月)、メールやり取り 内容 : 資料確定
安全性検討	第1回PT : 7月15日(木) 14時～【WEB開催】 内容 : 海浜幕張におけるマイクロモビリティのあるべき姿/現状/課題の検討 第2回PT : 9月22日(水)【書面開催】 内容 : 海浜幕張のマイクロモビリティに関する課題/原因仮説/検証事項の協議
モビリティ検討	第1回PT : 6月22日(火)、書面開催 内容 : モビリティ検討PTへの期待、取組テーマヒヤリング 第2回PT : 9月28日(火)、書面開催 内容 : モビリティ検討PT 活動方針提案

これまでの取組み、成果、課題

【成果】

- WG 会員が取り組んできたマイクロモビリティに関する取組みを共有しつつ、ディスカッションを行い、社会実装に向けて検討すべき3つの課題を洗い出した
- 2021年度下半期に実施するパーソナルモビリティ実証実験について、共有を図った

【課題】

- マイクロモビリティの社会実装に向けては「サービス内容」「安全性」「モビリティの種類」に関する問題がある

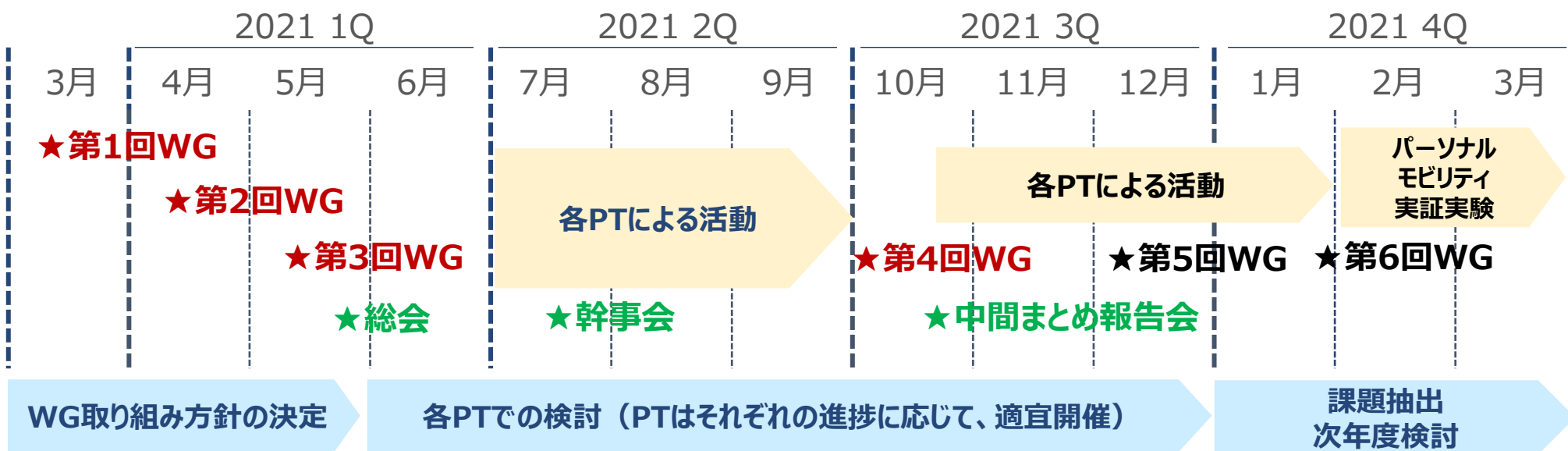
【今後の進め方】

- マイクロモビリティWGとしては、3つの問題をテーマにPTを作成し、回答策を検討していく

これまでの取組み、成果、課題

PT	今後の検討内容
サービス検討	幕張新都心という独自性を考慮したサービスの検討 (案：街を利用したビジネスマッチングサービス) → サービス主体者やサービスモデルの設計、収入、費用等の詳細を議論
安全性検討	・モビリティを実際に走行する機会を設けて、意見を集約する場を検討 ・ヒヤリ・ハット/事故情報やルールの共有による幕張新都心でのモビリティ走行に関するリスクアセスメントの実施の検討
モビリティ検討	・幕張新都心エリアの移動の現状把握や既存交通手段の利用状況の把握、ターゲットユーザーの分類等を行い、マイクロモビリティのあるべき姿を議論

各項目についてはPT間でも連携しながら、議論を実施するとともにWGにおいて方向性を決定する予定



他WGで意見、検討いただきたい事項

【対象WG】

モビリティ 利活用WG

【検討項目】

- ・移動の目的を創出するためのサービスの検討/認知向上の仕掛け

【背景】

- ・マイクロモビリティWGのサービス検討PTでも議論しているサービス内容について、WG間で連携しながら検討を進めたい

2021年度の目標（ゴール）

- 幕張新都心における自動走行ロボットを活用したサービス実証

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

（第1回WG）3月19日（金）

＜アジェンダ＞

- 事例紹介（京セラコミュニケーションシステム株式会社、MS & ADインターリスク総研株式会社）
- 意見交換

＜主な意見＞

- 幕張新都心では来街者や住民が多いため、自動配送ロボットの様々な利用シーンが考えられるため、どのようなニーズがあるのか、住民等の意見も聴取する必要がある。
- マンション個宅への配送まで考えると、小型配送ロボットの活用も検討する必要がある。状況に応じたロボットの使い分けや連携なども考えていかなければならない。

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

(第2回WG) 6月30日(水)

＜アジェンダ＞

- 各社のWG内における役割について
- ウォークブル実証実験の紹介について
- 実証実験の提案について

＜主な意見＞

- ロボットによるサービスを想定した時に、サービス主体の事業者がないことも課題という認識であるので、サービスを提供する企業の知見が必要となった際には、紹介等のご協力を頂きたい。
- ロボットの走行を実施する際は安全対策が最重要課題となる。
- ロボットに積む商品は、地域の特性を活かしたものを考えているので、各企業にご協力頂きたい。

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

(第3回WG) 10月8日 (金)

＜アジェンダ＞

- 実証実験の進捗状況について
- 意見交換
- 今年度の公募について

＜主な意見＞

- 実際の実証実験で安全対策として、どの程度の人込みまで対応できるのか検証が必要となる。
- 無人移動販売以外の様々なニーズへの対応も可能な限り検討していく。

これまでの取り組み、成果、課題

【成果】

- 幕張新都心における自動走行ロボットを活用した実証実験の計画策定



- 参画企業の役割確認

【課題】

- WG内に配送事業者がない。
- 地域住民のニーズが把握できていない。

【今後の進め方】

- 配送を想定した自動運転ロボットによる実証実験を通じて、実施可能な現場条件や地域のニーズを調査する。

他WGで意見、検討いただきたい事項

【対象WG】

利活用WG

【意見、検討事項】

●自動走行ロボットを活用したサービスのニーズ調査やご協力について

例①：自動走行ロボットを活用した販売/配送サービスにおける対応エリアのニーズ調査や販売商品/配送物
のご提供など

例②：自動走行ロボットを活用した新サービス（巡回警備、ごみ収集など）のニーズ調査やご希望など

2021年度の目標（ゴール）

- 域内交通の最適化に向けた検討
- 各団体の課題や資源、ニーズを把握

これまでの取組み、成果、課題

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総会		②					中間報告会
WG	①		②	③			
PT（最適化）						①	
PT（回遊性）						①	
幹事会				①			

WG取組み方針の決定

各PTでの検討

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

(第1回WG) 4月26日 (月)

＜アジェンダ＞

- WGの取組み・目標
- プレゼンテーション
- グループワーク

＜主な意見＞

【現在の幕張新都心の良い点】

- 都市機能がコンパクトかつバランスよく配置（ゾーニング）されており、土地がフラットである。
- 歩道や車道が広く、実証実験等に適している。
- ビーチの存在、アクセスがよく、海外需要にも対応できる。
- 時刻表を見なくても生活ができる。

【現在の幕張新都心の課題感】

- 各要素の集積やポイントは存在しているものの、横連携やつながりが無い。
- 回遊性が少なく、外へのコンテンツ発信が弱い。
- 週末には渋滞が発生することがあり、災害時の混乱も懸念される。

【モビリティによってもたらされる理想的な幕張新都心の姿（具体的なイメージ）】

- 歩くと遠いが、バスやタクシーを使うほどではないという距離感がある。
- 遠方から人を呼び込み、回遊・長期滞在により地域貢献いただく。
- 海を活用したリゾート感。
- 人の暮らしや移動するということにフォーカスを置き、ソフトモビリティを中心に考える。
- 他の施設への移動を容易にできる。●「この乗り物に乗りたい」という目的があるまちづくり。
- 移動自体を楽しみ、利便性だけではなく、人間の心に訴えかけるようなことを通じて、幕張新都心エリアでの滞在時間を長くするようなモビリティ。
- 高齢者が車を手放したとしても、負担なく生活ができるまちづくりをし、高齢者の活気により日中の賑わいを創出する。
- 各サービスのポータルサイトのようなアプリケーションを用意し、利便性向上を図る。

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

(第2回WG) 6月29日(火)

＜アジェンダ＞

- 第1回WGの振り返り
- モビリティ利活用WGの
今後の進め方
- 意見交換
- プロジェクト提案

(東日本旅客鉄道(株)千葉支社)

＜主な意見＞

【各施設(団体)における課題】

- 目的地から次の目的地までの案内がない。
- 駅から施設、施設から駅までの行き来のみをしている人が多い。
- 球場までのバスはあるが、海側へのアクセス(交通手段)がない。
- たくさん乗り物はあるが、何があるかわからない状態なので見える化が必要。
- 自社のシャトルバスを走らせているが、コスト面で大きな課題。稼働率を改善させたい。
- 定員数が限られておりシャトルバスに乗れないケースもある。
- 初めての方は、シェアサイクルを利用できるか疑問。
- 送迎バスは決められた時間しか走れない。



【課題に対する対策・取組み】

- シェアサイクルが2年前に始まってから回遊性が生まれたのではないか。
- 歩いて楽しいまちづくりの観点も必要。
- 中心地の駐車場をつなぐ何かソフト的な取組みがあれば回遊性は向上するのではないか。
- 複数施設を回遊できる工夫が必要。
- タクシーは費用がやや高いため周遊バス(ハイエースサイズ)があるとよい。
- 防犯対策など安全面の確保も重要。
- 来訪者・従業員・居住者の視点から課題分析すべき。
- ヒトだけでなく、モノの輸送により稼働率を高める取組みもある。
- 既存の乗り物の利活用(路線バスのデマンド)に取り組んでいるところもある。
- アプリなどで情報提供、予約の一元化ができるとよい。

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

(第3回WG) 7月26日(月)

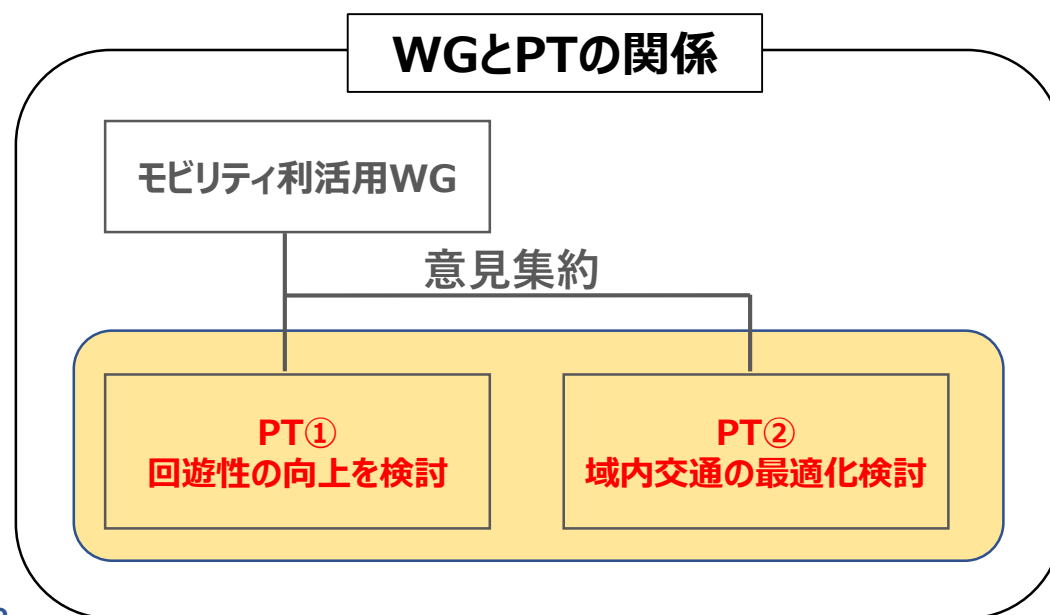
<アジェンダ>

- 第2回WGの振り返り
- モビリティ利活用WG検討課題について
- 質疑応答

<主な意見>

- PT制の導入を**右表**のとおり説明し、了承。
- 2021年度のWGとして取り組むべき目標及び
求めたい**成果**について、以下のとおり説明し、了承。

- ・域内交通の最適化に向けた検討…**モビリティ利活用イメージの確立・提言・提案**
- ・課題・ニーズ・資源の把握…**提言・提案を補強するためのデータの可視化**



PT参加団体

団体名	回遊性検討 P T	最適化共有化 検討 P T	団体名	回遊性検討 P T	最適化共有化 検討 P T
イオン（株）	○	○	JFA夢フィールド幕張温泉 湯楽の里		○
（株）ヴァル研究所	○		（株）NTTドコモ千葉支店	○	
（株）JTBコミュニケーション デザイン	○		イオンコンパス（株）	○	○
ビー・トランセホールディングス(株)		○リーダー	三ツ矢エミタスタクシーHD (株)	○	
損害保険ジャパン(株)	○		（株）建設技術研究所	○	
東日本旅客鉄道(株)千葉 支社	○リーダー	○	参加団体数（イオンコンパス を含めた数）	10	5
（株）千葉ロッテマリーンズ	○	※			

最適化共有化検討PTには上記団体のほか、幕張メッセ様、ホテル協議会様、千葉ロッテ様もご参加いただき今後具体的に協議を行ってまいります。

PTの取組状況

拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PT

PT①

○開催内容

第1回PT：9月10日（金）、web開催

PTリーダー：東日本旅客鉄道株式会社千葉支社に決定

主な内容：リーダー選定、PTの進め方、各社のPTに対する考え発表

○決定事項

- ・PTは基本月に1回実施、進捗により2回開催。半数の5社程度参加でPT開催

○取り組み方針（案）

- ・各社が検討している内容を共有し、PTの方向性、ベクトルを合わせて進める
- ・コンテンツ面、モビリティ面を両輪として回遊性を高める施策を検討する

PTの取組状況

モビリティ資源の最適化・共有化の可能性検討 P T

PT②

○開催内容

第1回PT：9月2日（木）、web開催

PTリーダー：ビー・トランセホールディングス株式会社に決定

主な内容：課題の洗い出し、各社の考えの共有

○独自のモビリティをもっている企業または、回遊候補地の企業に対してPT加入依頼
…千葉ロッテ様、幕張メッセ様、ホテル協議会様の加入同意の取付

○課題

…参加事業者の資源の可視化

ヒアリングシートとりまとめ結果を受け、新たな課題の洗い出し及び課題
に対する今後の取組みの方向を決めていく

これまでの取組み、成果、課題

【成果】

WG内で取り組むべき目標と成果について、確定することができた。

【課題】

- 域内交通の最適化…参加事業者の**資源の可視化**を行う必要あり
- 回遊性の向上…各社が検討している内容の共有→P Tの方向性、ベクトルを合わせる
コンテンツ面、モビリティ面を両輪として、**回遊性を高める施策の検討**を行う必要あり

【今後の進め方】

- 2つのP Tを中心に集中的に議論を行い、WGにおいて方向性を決定していく。
- ヒアリングシートを活用し、各団体の課題や資源、ニーズの分析等を行っていく。

他WGで意見、検討いただきたい事項

【対象WG】

・マイクロモビリティWG、サービスロボットWG、自動運転WG

【意見、検討事項】

(各WGで実施される実証実験のデータ提供について)

●回遊性の向上のために、WGごとに行った実証実験のデータ（例えば、走行実績、走行ルート、ヒートマップ、ヒヤリ・ハット、アンケート結果、その他実証実験で見えてきた幕張新都心における課題）について、WG内で意見交換を行った上で、その結果をモビリティ利活用WGに提供してほしい。

2021年度の目標（ゴール）

- MaaSに求められるデータの状況を整理（オープン化）

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

（第1回WG）4月26日（月）

<アジェンダ>

- WGの取組み・目標
- プレゼンテーション（千葉市役所幕張新都心課、公益社団法人千葉市観光協会）
- グループワーク

<主な意見>

- 都市機能がコンパクトかつバランスよく配置（ゾーニング）されており、土地がフラットという良い点がある一方、横連携やつながりがなく、回遊性が少なさや外へのコンテンツ発信が弱いという課題もある。
- 「モビリティによってもたらされる理想的な幕張新都心の姿」として、人の暮らしや移動することにフォーカスを置き、ソフトモビリティや幕張新都心エリアでの滞在時間を長くするようなモビリティがイメージされる。
- 各サービスのポータルサイトのようなアプリケーションを用意し、利便性向上を図る。

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

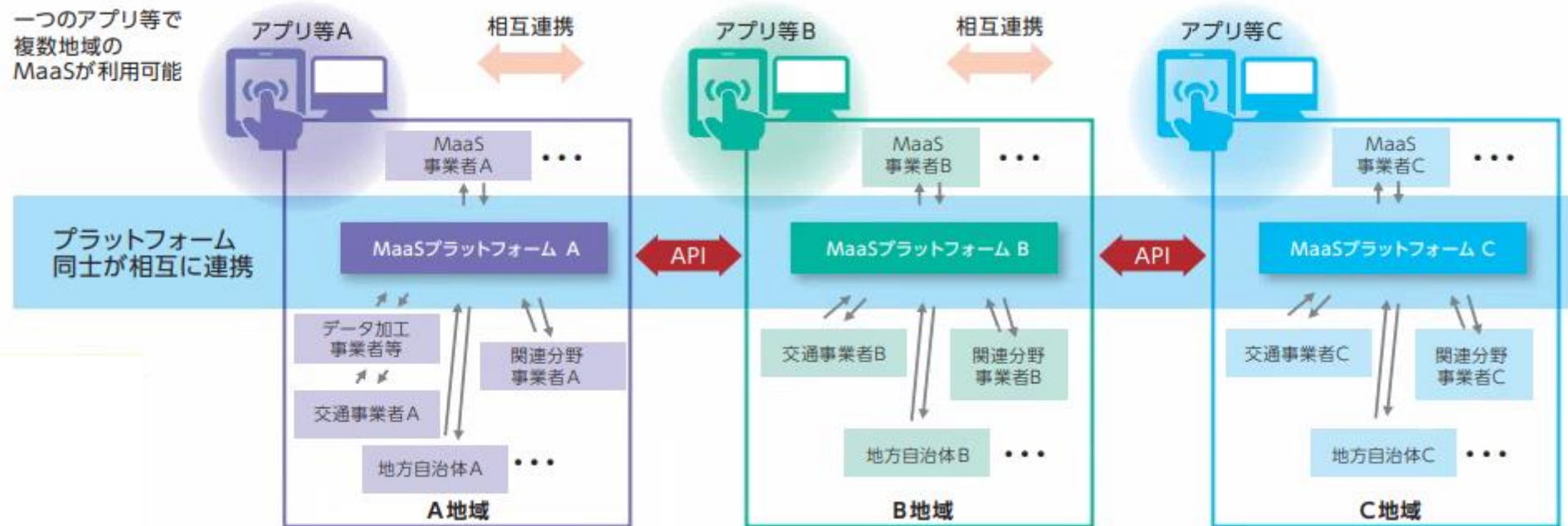
(第2回WG) 6月11日 (金)

＜アジェンダ＞

- 第1回WGの振り返り
- 取組事例紹介
- 2021年度WGの取組み、今後の検討スケジュール
- プロジェクト提案（小田急電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社）
- 幕張新都心版MaaS実現に向けた調査・分析事業（千葉市事業）に関するディスカッション

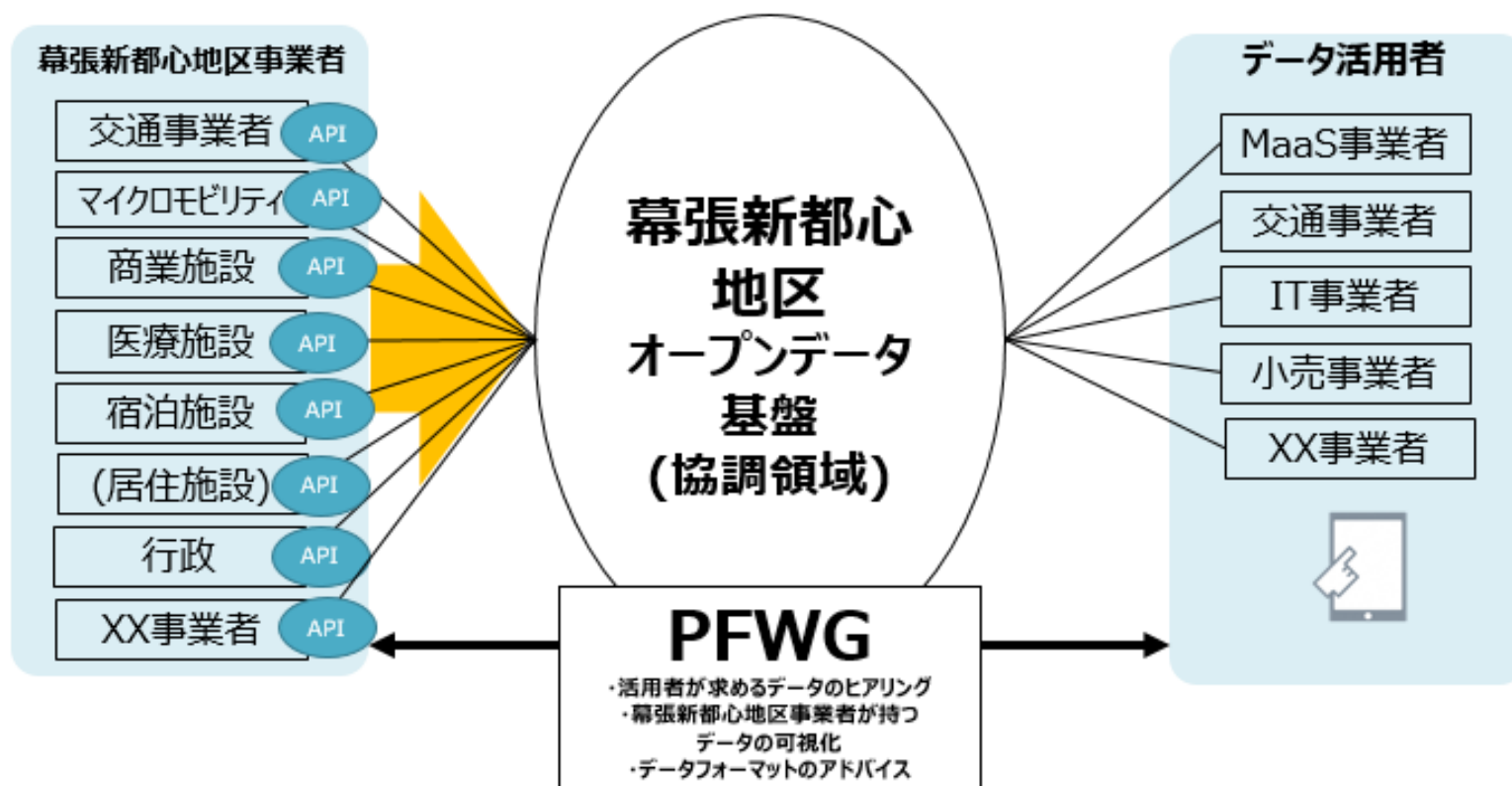
＜主な意見＞

- MaaS実現に向けて、交通事業者や商業施設との連携を考えていきたい。
- 利用者の訪問先にどのようなものがあり、どのようなものが用意できるのかということは並行して検討していくべき。



【出典】MaaS関連データの連携に関するガイドライン Ver.2.0

目指す姿とWGの役割



これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

(第3回WG) 9月9日 (木)

<アジェンダ>

- 講演 (国土交通省様)

スマートシティ推進の背景・必要性、官民連携プラットフォームの設立、目指すべきコンセプト、
モデルプロジェクト紹介、3D都市モデルの構築・ユースケース検証

- 新規会員紹介

- MaaS関連データに係る発表

- 幕張新都心版MaaS移動実態調査等業務委託について

これまでの取組み、成果、課題

【成果】

- WG会員が公開しているデータが可視化した。
- スマートシティガイドブックや3D都市モデル等のスマートシティに関する取組みの共通理解が得られた。
- MaaSを構築する上で求められるデータのジャンル、内容等の傾向が把握できた。

【課題】

- データの形式や開示可否等を明らかにする必要があるが、掘下げは進んでいない。
- WG以外の会員や非会員への声掛けが不十分となっている。
- 幕張新都心版MaaSの構築に向けたスケジュールを具体化していく必要がある。

【今後の進め方】

- 幕張新都心版MaaS移動実態調査とも連携し、データ整理（オープン化）を進める。
- MaaS構築スケジュールとして、ターゲット層、提供サービス等の仕様設計、新駅開業時点におけるサービスインまでのプロセス等を検討する。

他WGで意見、検討いただきたい事項

【対象WG】

マイクロモビリティWG、サービスロボットWG、自動運転WG、モビリティ利活用WG

【意見、検討事項】

(MaaSプラットフォーム構築に求められるデータの提供について)

- モビリティや移動目的となる商業・観光施設だけではなく、人流、決済や医療等の多分野でのデータ連携により、新たなサービス創出が期待される。その実現に向けて、各WGで議論されている対象に関して、どのようなデータ（ジャンル、項目、内容、形式含む）が提供できるか検討いただきたい。